

# 地域医療連携室だより Vol.31



発行 平成 24 年 1 月  
発行元 大津市民病院  
〒520-0804  
滋賀県大津市本宮二丁目 9 番 9 号  
TEL 077-522-4607  
URL <http://www.municipal-hospital.otsu.shiga.jp>



## ～ 診療科の紹介～

呼吸器外科診療部長 <sup>とだ</sup> 戸田 <sup>しょうご</sup> 省吾



呼吸器外科は 2003 年 4 月に開設されました。当初は戸田省吾(昭和 56 年卒)が 1 人部長として心臓血管外科と合同で手術を行っていましたが、2008 年 1 月から呼吸器外科専門医が 1 人加わり、現在は井伊庸弘(平成 5 年卒)との 2 人で診療にあたっています。

当科では肺癌の外科治療を中心に診療を行っており、年間の全身麻酔下の手術数はここ数年平均 130 例で、うち肺癌手術数は 60 例前後あり、滋賀県では常にトップクラスの手術数です。当科の肺癌手術の特徴は、胸腔鏡を併用した低侵襲の手術を行うことにより、合併症のないスムーズな術後経過と十分な根治性を同時に得られることです。手術の創は通常 3～4cm で、「日本で一番小さい」と自負しています(写真参照)。なぜ日本で一番小さいとわかるかといいますと、それ以上小さければ切除した肺を体外に取り出すことができないからで、冗談で「本当は世界一傷が小さい」と言っています。その小さい創から胸腔内を直接見たり胸腔鏡での画像をモニターで見たりしながら十分な安全性も確保しています。施設によっては肺癌の手術を、胸腔内を直接全く見ない<完全鏡視下>で行っているところもありますが、肺を取り出す時には結局創をわれわれと同じ(以上)に広げますし、われわれの方法の方がより安全かつ確実に操作を行えます。肺癌手術は一般的に危険性の高い手術のひとつで、肺葉切除の術後 30 日以内の死亡率が 1%とされていますが、当科では最近 8 年間で 320 例の肺葉切除中、死亡例はありません。

術後の在院期間は 4 日をクリニカルパスの目標としており、実際には平均 4.9 日ですが、在院期間が延長する大半の原因は患者様のご希望によるものです。おそらく入院期間も日本で一番短いと思っています。癌の手術で最も大切なのは 5 年生存率ですが、肺癌は最も早期の IA 期でも 5 年生存率が一般に 85%程度なのに対し、当科でのこれまでの IA 期手術症例 202 例中死亡例はありません(2003 年以降)

肺癌以外にも転移性肺腫瘍・縦隔腫瘍・気胸・膿胸など幅広い疾患に対して手術を行っています。

術後の在院期間は 4 日をクリニカルパスの目標としており、実際には平均 4.9 日ですが、在院期間が延長する大半の原因は患者様のご希望によるものです。おそらく入院期間も日本で一番短いと思っています。

癌の手術で最も大切なのは 5 年生存率ですが、肺癌は最も早期の IA 期でも 5 年生存率が一般に 85%程度なのに対し、当科でのこれまでの IA 期手術症例 202 例中死亡例はありません(2003 年以降)

肺癌以外にも転移性肺腫瘍・縦隔腫瘍・気胸・膿胸など幅広い疾患に対して手術を行っています。

最後に手のひらから汗が多く出る多汗症に対する胸腔鏡下交感神経遮断術についてご説明します。多汗症は命に関わる病気ではないだけに見過ごされがちです。しかし、汗が手からしたたるくらいの方もあり、字を書くとき紙がふやけてしまう、パソコンが使えない、ピアノが弾けない、看護師さんなど他の人の体に触れる職業に支障がある、彼氏と手がつなげないなど、患者様の悩みは深刻です。多汗症に対し、胸腔鏡下に胸部交感神経の手に関係する部分だけを遮断することによって劇的に症状が改善します。通常 1%の無効例や再発例があると言われていたのですが、われわれのこれまでの経験では全例に十分な効果が得られています。



主な手術創  
(体外への取り出し口)

胸腔鏡入口

### ～おねがい～

呼吸器感染症やインフルエンザなどが流行する季節になりました。  
受診の際はマスクの着用をおすすめいたします  
お願いいたします。



# ～診療科の紹介～

外来通院手術部 診療部長 かのう まさと  
加納 正人



外来通院手術部では重篤な基礎疾患のない患者様を対象に、日常生活のリズムを大きく変えることなく安全で効率の良い外科的治療を受けていただけるように、外来通院手術(手術当日来院、当日退院)、短期滞在手術(手術当日来院、1～3泊後退院)のサポートを行っています。また、手術だけでなく、多忙な外来や病棟で対応が難しい自己血貯血や、尿路結石の体外衝撃波破碎等にも対応しています。全ての治療がクリニカルパスに基づいて行われ、コーディネーター(外来通院手術専任の看護スタッフ)が術前に当日のスケジュールなどを説明、また手術当日術前の体調のチェックや術後のケア、退院後の注意などの説明を行います。

外来通院手術の対象疾患や手術は、下記の如く多岐にわたっています。患者様の都合に応じて日帰りで治療、あるいは小手術でも短期滞在入院が可能となるよう各診療科が工夫しています。クリニカルパスに基づき診療が行われるので退院まで不安

なく過ごしていただけます。

「忙しいので日帰りで治療を受けたい」「小手術だが術後不安なので入院したい」といった患者様の様々なニーズへの対応と、椎間板ヘルニアに対する経皮的髄核摘出術や日帰りも可能な鼠径ヘルニア手術といった新しく、より低侵襲な治療を結びつける場になりたいと思います。患者様のニーズこそが新たな治療スタイルを生む原動力ですので、様々なご要望をお待ちしています。

## 《平成22年度診療科別利用実績》

外科	225 件	[小児・成人鼠径ヘルニア、腹腔鏡下胆嚢摘出術、痔疾患、乳腺腫瘍摘出術、皮下腫瘍摘出術など]
眼科	235 件	[白内障手術、斜視など]
泌尿器科	97 件	[ESWL、前立腺生検、包茎手術、経尿道的手術など]
脳神経外科	208 件	[圧迫骨折に対する椎体形成術、椎間板ヘルニア経皮的髄核摘出術など]
整形外科	47 件	[抜釘術、腱鞘切開術、腫瘍摘出術など]
皮膚科	71 件	[皮膚腫瘍摘出術など]
耳鼻科	22 件	[鼻内視鏡手術、頸部腫瘍摘出術など]
歯科	39 件	[抜歯など]
心臓血管外科	42 件	[内シャント形成術、下肢静脈留など]
自己血貯血	293 件	

旧年中は大変お世話になりました。  
新しい年を室一同元気で迎えることができました。  
本年もよろしくお祈りします。

♥12/29～1/3までお休みをいただきました。  
ご迷惑をおかけしました。♥

大津市民病院地域医療連携室

TEL : 077-526-8192

FAX : 077-522-0192

### ～NST勉強会のご案内～

- 1月12日(木)「簡易懸濁法、経腸・経静脈栄養」  
薬剤部：薬剤師 北川 加奈子
- 1月26日(木)「NSTと口腔衛生管理」  
歯科口腔外科：歯科衛生士 山本 伸子  
17時30分～19時00分  
9階会議室  
※筆記用具・電卓をご持参下さい。

### ～研修会のご案内～

- 2月2日(木)「～健康は食事から～」  
講師：南ゆう子(管理栄養士)  
17時30分～18時30分  
9階会議室